

第2章 城里町の概況

第2章 城里町の概況

1. 人口・合計特殊出生率

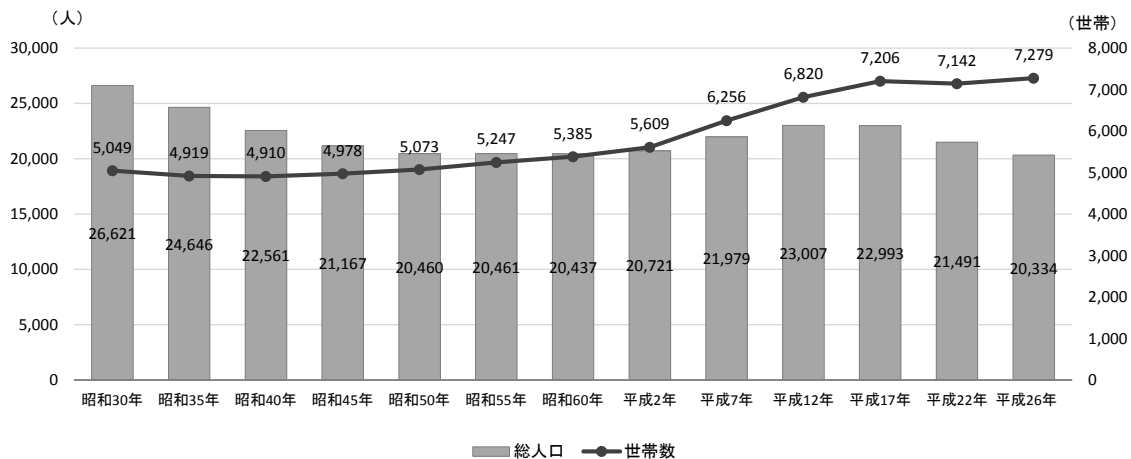
(1) 人口・世帯数の推移

城里町の人口をみると、昭和30年には26,621人でしたが、平成26年には20,334人と、約2割減少しています。人口・世帯数ともに、平成2年から平成12年の間は増加がみられましたが、平成17年以降は、人口減少を続け、世帯数は横ばいとなっています。

年齢別人口構成をみると、年少人口、生産年齢人口ともに減少を続けています。年少人口は、昭和50年は21.6%でしたが、平成26年には、半数以下の10.3%になっています。一方、老年人口は平成26年には30.8%に増加しています。

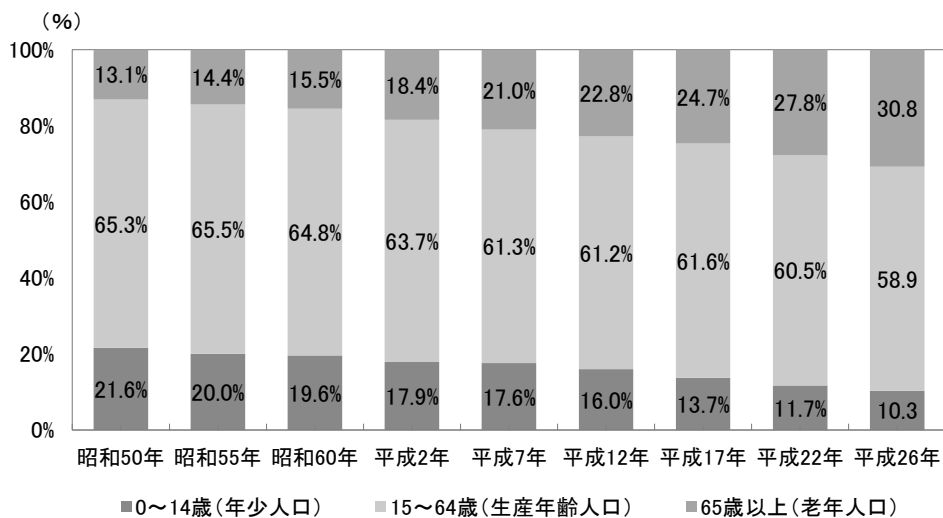
5歳階級別人口をみると、平成12年～平成26年の間に0歳～54歳までのすべての人口が減少していますが、特に0歳～14歳までの年少人口が減少しており、少子・高齢化が著しく進んでいることがわかります。

○人口・世帯数の推移



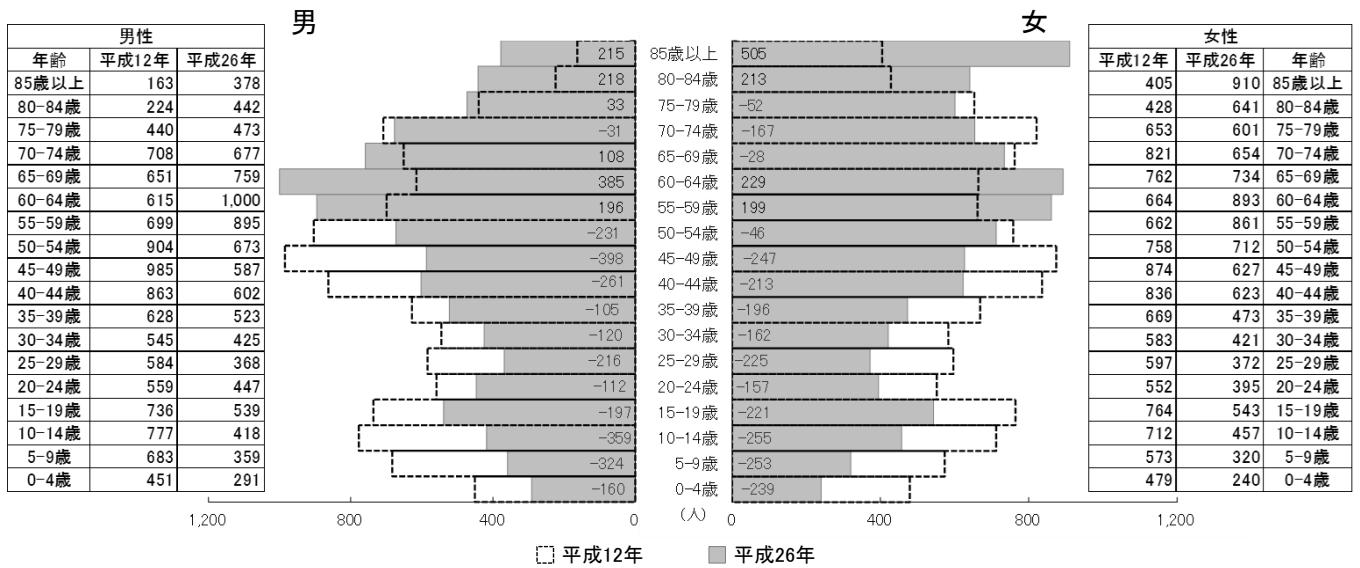
資料: 国勢調査(平成26年度は常住人口調査)

○年齢別人口構成



資料: 国勢調査(平成26年度は常住人口調査)

○5歳階級別人口増減数（平成12年と平成26年の比較）

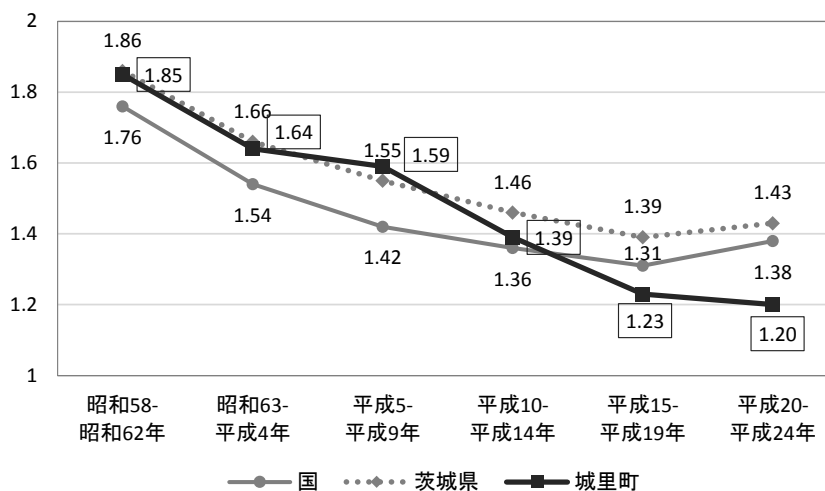


資料: 国勢調査

（3）合計特殊出生率

城里町の合計特殊出生率は、昭和58年以降減少が続いています。同様に減少を続けていた国および茨城県の合計特殊出生率は、平成20年～平成24年に増加に転じていますが、城里町の合計特殊出生率は1.20まで減少しています。

○合計特殊出生率の推移



資料: 人口動態保健所・市区町村別統計

※合計特殊出生率: 15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、ひとりの女性がその年齢別出生率で一生涯の間に生むとしたときの子どもの数に相当します。

